

学校だより



川口市立元郷中学校
〒332-0003 川口市東領家1-8-3
TEL 048-222-4143 FAX 048-225-3222
令和元年12月1日 第346号
<http://www.sch.kawaguchi.saitama.jp/motogo-j/>

今年の振り返りと来年の準備を

校長 大山 孝一

月日のたつのは早いもので、今年も、あと1ヶ月となりました。まさに光陰矢のごとしです。保護者・地域の皆様には、今年も様々な場面で学校を支えていただき、ありがとうございました。心より、感謝申し上げます。そして、3年生にとっては自分の進路先を決定しなければいけない時期を迎えます。不安や悩みも多いかもしれませんが、これまでの自分の努力を信じ、自分の未来を自分の力で切り開いていきましょう。また、1、2年生も、自分を客観的に見つめ、部活動や勉強面における「これからの目標」を見つけ出してください。生徒の皆さんには、今年1年をしっかりと振り返り、来年の準備をしっかりと行ってほしいと思います。

～ 努力の壺 ～

人が何かを始めようとか、今までにできなかったことをやろうと思って決心すると、神様が、「努力の壺」をくれるという昔話があります。その壺は、色々な大きさがあるそうですが、皆さんが入れそうな大きな壺をもらったと想像してみてください。そこに目標を書いた紙を貼ります。例えば、「テストで100点を取る」としましょう。その壺に、一日勉強するたびに、コップ1杯の水を入れます。コップ1杯の水が努力の証です。最初のうちは、水を入れても、壺の中の水がどのくらい増えているのかわかりません。途中で、「自分には向いていない。」「頑張っても無駄だ。水はたまらない」と思い、「や～めた。」と、水を入れることをやめてしまう人もいるかもしれません。ここが辛いところですが、でも頑張ってみてください。

続けていくと、あるとき、水の入る音が変わったことに気づくはずですが、中で溜まっている水に、入れた水が当たり、「ポチャン」と聞こえるからです。その音から、確かに努力の水が溜まっていることを知ります。こうなると、努力の成果が感じられ、水が溜まっていることが実感でき、学力アップの結果も見えてくるようになります。

さらに続けていくと、努力を努力と思わず、学習する習慣が身に付き、何の苦労もなく、勉強することが出来るようになります。そして、いつかは壺から水があふれだす時が来ます。テストで100点を取ります。この時、努力の大切さを知ることができるのです。

学校生活ではいろいろなことを学び、体験します。それを自分のものにしていくためには、少なからず、努力が必要です。皆さんが、努力の壺を水でいっぱいにしてくれることを期待しています。

校 訓

責任 健康 感謝 協力 勉学 真剣

学校教育目標

自主的に取り組む生徒 【全体】
共に学び、共に伸びる生徒 【知】
思いやりのある生徒 【徳】
健康でたくましい生徒 【体】

元郷中で良かった～笑顔と規律と潤いのある学校～